



レントゲン装置で、箱の中を透視(上)、顕微鏡で血液中の細胞を探す(下)

ウェルビーイング
(well-being)
健康、幸福、福祉などに直訳される。疾病がないだけでなく、精神的にも満たされた状態のことをいう。

ウエルビーイングプロジェクト
リーダー 杉岡 敦子

健康クリニックお仕事体験 子どもたちが顕微鏡で細胞を探す

1月6日、当協会健康クリニックを会場に「Little KIDS DOM 健康クリニックお仕事体験」を開催しました。親子9組19名が参加し、臨床検査技師や診療放射線技師などの仕事を体験しました。

この取り組みは、子どもたちに体験を通じて将来の選択肢を増やしてほしいと考える団体「キッズダムひろしま」と当協会が主催したものです。当協会としては、職員が企画実践することで自分の仕事の魅力を再発見し、一人ひとりの「幸福」と「心身の健康」を保つウェルビーイングにつながればというねらいがありました。

今回、子どもたちが挑戦した仕事の1つ目は、白血球などの血液細胞を顕微鏡で探したり、尿検査をする臨床検査技師の体験です。お茶やジュースをサンプルに見立てて、試験紙の色が変わる様子を観

察しました。2つ目は、CTやレントゲン検査を行う診療放射線技師の体験です。掃除機のスライス写真を作ったり、X線で箱の中身を当てるなど、実際の機器に触れながら楽しく行いました。



他市町交流や物に触るなど体験を重視した研修を実施

加しました。西中国山地自然史研究会事務局の河野弥生さんに基調講演をいただき、事業に魅力を持たせる工夫のヒントをいただきました。

その後は、どのような

専門研修 環境協主催のリーダー研修 地域課題解決のきっかけに

「我がまちの魅力発見コース」
12月19日(木)、企画づくりコースをギョッと凝縮し、「魅力」に視点を当てた日帰り研修を実施し、6公衛協2地域協議会から14人が参

加しました。西中国山地自然史研究会事務局の河野弥生さんに基調講演をいただき、事業に魅力を持たせる工夫のヒントをいただきました。

な事柄に「魅力」を感じるか、参加者同士で共有しました。「おいしい」「きれい」「誰かのために」「ここにしかない」「感動」などさまざまな魅力のきっかけが共有され、これらの魅力を我がまちの活動にどのように取り入れるかを考えました。

【防災・減災コース(水と非常食編)】
1月16日(木)、17日(金)、東部・西部の2会場で開催し、9公衛協から21人が参加しました。

地域づくり「デザイン」の秦野英子さんをお招きし、災害時の備えについて、座学と体験を通じて学びました。午前中はカードゲームを利用して、災害シーンごとに自分に本当に必要な備蓄とは何かを考えました。

非常食の学習では、非常食の種類やローリングストックについて学びました。気になる食品は試食もしい、調理方法や味を確かめたほか、当協会では、引き続き公衛協活動の活性化や地域の課題解決に資する研修を企画してまいります。

(地域活動支援センター)

参加者からは、「白血球を初めて見た」「バリウム検査はこんな様子なんだ」と子どもからも大人からも大満足の声をいただきました。運営に関わったスタッフも、「子どもの生き生きとした姿を見ながら一緒に楽しむことができて、有意義だった」と振り返り、大変有意義なイベントになりました。

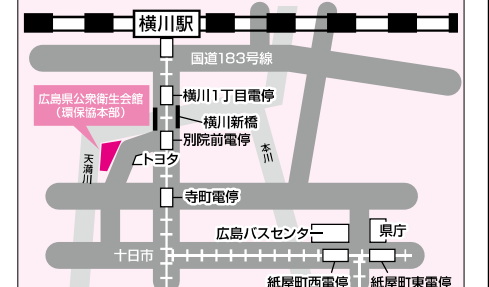
ウエルビーイングプロジェクト
リーダー 杉岡 敦子

2年前に環境保健協会を退職して、もっぱら三次市上田町にあるNPO法人ほしはら山のがっこうで日本自然保護協会の自然観察指導員として活動しています。この団体は、地域住民の理解と協力を得ながら、親子や未就学児童、小中学生を対象とする里山での自然体験を一年中展開しており、ふるさと自然体験交流が20周年を迎えたそうです。この20年間に来訪した500人にアンケートしたところ、125人から回答がありました。集計結果を見ると、自然体験や人とのつながり、地域づくり、子どもの成長など、さまざまな観点から良かった、今もよく思い出す、という感想とともに、スタッフや地域の人たちに会いたいから参加しているという回答がありました。さらに、体験が人

生に大きく影響しているという回答もありました。子どもたちは、里山の景色の中で、生き物と出会い、森や草原の風、野花の香り、田んぼの泥の感触、焚き火の煙、星空や日差し、雪の冷たさなど、五感を使って体験し、学びを深めます。また、一緒に活動する大人や子どもたちから、自分の振る舞い方を学び、成長します。幼少年期の体験は初めてのことが多く、原体験として、その後のいろいろな判断に大きな影響を及ぼします。だから、良い原体験が重要です。そこで、里山の再生を目指して森づくりや休耕田を活用した草原の整備を進めるとともに、子どもたちの発見や興味を引き出せるよう観察活動を続け、里山が大好きで広島

の環境を守ろうとする人が増えていくよう努めたいと思っています。

(環境カウンセラー 上田 康二)





環境にも優しく、ライフスタイルの質も豊かにするためのヒントを学ぶ

脱温暖化推進員フォーラム 2005

活動や課題・情報などを共有 分科会でこれからの活動のあり方を考える

2月7日にエールビルA館6階RCC文化センター(広島市)にて、「脱温暖化推進員フォーラム2005」を開催しました。

このフォーラムは、互いの活動や課題・情報などの共有および交流を通じて、これからの活動のあり方を一緒に考え、実践活動の輪を広めていくことを目的に開催するものです。地球温暖化防止活動推進員や地球温暖化対策地域協議会など、県内各地で温暖化防止活動に取り組む24団体69人が参加しました。

午前中は、環境省デコ活応援隊の金井大樹さんに、『デコ活』との連携によるライフスタイル変革の可能性についてと題して、生活がより豊かに、より自分らしく快適・健康でいられる取り組みが重要であることなど、これからの活動の

分科会②体験したプログラムの感想を述べる



ヒントとなる情報をお話いただきました。

午後からは3つの分科会を実施しました。

①アイデア発想ワークショップ

東芝データ株式会社「風水害」がファシリテーターとなり、地域ならではの脱炭素アクションのアイデアを考えました。

②SDGsカードゲーム

かんきょう会議浮城の安藤真さん、安藤志保さんがファシリテーターとなり、風水害発生時の適切な判断や行動するための知識、行動指針を、カードゲームで楽しく学びました。

③教材ツール体験

TEAMMATEひろしま学習・交流会で作成したツールや、当センターで整備している貸出グッズを体験しました。

また、今回は食品ロス削減を目的に、初めてフードドライブを実

TEAMMATEひろしま学習・交流会

住宅断熱D-I-Y研修を開催

内窓や遮熱材の設置を体験

1月23日に、TEAMMATEひろしま学習・交流会(第3回)「住宅断熱D-I-Y」を開催し、7団体16人と、うちエコ診断士5人が参加しました。

今回の学習・交流会は、住まいに関するエネルギー使用量の削減を目的に、ホームセン

ターで手に入る安価で取り扱いやすい材料を

使って、自分でD-I-Yできる取り組みについて学習しました。

講演では、D-I-Yアドバイザー関西の坂口光正さん、高田篤さんを講師にお迎えして、D-I-Yアドバイザー関

西が実施した「省エネやCO₂削減につながるD-I-Yの事例紹介」を聴講しました。住まいの中で、熱の出入りが

一番大きい窓に断熱対策をすることによって、冬は室内の暖かい空気が外に逃げにくく、夏は室外の暑い空気が中に入りにくくなり、1年を通して快適な暮らしができることがわかりました。

実習では、手軽な取り組みで効果を得る実例として、簡易内窓キット組み立て、窓遮

断熱シート貼り付け、断熱パネル取り付けを講師の先生方の指導の下で行いました。2つの窓の間や窓とシート、パネルの間に空気の層ができることで、熱の移動を抑えられることがわかりました。

また、ポリカーボネート中空板やプラスチックダンボールの性能を説明してもらい、実際に触りながら断熱シート貼り付け、断熱パネル取り付けを講師の先生方の指導の下で行いました。2つの窓の間や窓とシート、パネルの間に空気の層ができることで、熱の移動を抑えられることがわかりました。

参加者からは、「D-I-Yで内窓ができることを初めて知った」「だいたいの費用や実践の仕方が分かって良かった」「明日ホームセン

ターに行く予定です」などの感想がありました。今回の学びや体験を、各協議会で実施する住宅断熱D-I-Yに繋げる活動に活かしてもらいたいと思います。(脱温暖化センターひろしま)

省エネやCO₂削減につながる事例紹介(上)、簡易内窓づくりを体験(下)



分科会③仲間が作った教材を学び合う

施しました。家にある食品で食べる予定が無いものを参加者に持参してもらい、全部で14品を集まりました。集

めた食品は、広島市社会福祉協議会に寄付し、必要な方に使っていただきます。(脱温暖化センターひろしま)

デコ活：二酸化炭素を減らす脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)をかけた『デコ』と、活動・生活を組み合わせた新しい言葉。

地球温暖化防止活動推進員誕生 学生参加が増加傾向



新たに誕生した28名の推進員

令和6年12月14日、令和6年度新規推進員養成研修を受講した11団体28人に、広島県から「地球温暖化防止活動推進員」が委嘱されました。近年、学生の研修会への参加が多く、今年度は呉工業高等専門学校の学生が研修に参加し、自らが企画した事業を実践しました。若い世代への啓発だけでなく、就職活動における自己PRとして、また社会人になった時にこの経験を活かしてもらいたいと思います。

28人の推進員には、地域における温暖化防止のための情報提供や普及啓発活動、地球温暖化対策地域協議会のマネージメントなど、今後の活躍を期待します。

【新規推進員が企画・実践した事業テーマと主な内容】

①ごみの分別・減量

くれ環境市民の会、エコINNくろせ、か

一般社団法人ループ・ラボひろしまが取り組みました。ごみの分別について考える学習活動や、生ゴミの排出量を減らすための堆肥化の普及啓発、各家庭での雑紙類の処分方法に関する調査などを行いました。

②食品ロスの削減

大崎上島けんこう文化の島づくり協議会が取り組みました。町内の高校生と一緒に、食品ロス低減や地産地消を意識した商品を考案しました。

③普及啓発

脱温暖化ネットおんど、布野の食と脱温暖化を考える会、坂町公衆衛生推進協議会、有限会社藤岡保険コンサルタント、一般社団法人地域QOL研究所が取り組みました。海辺教室やワークショップ、イベントでの展示やノベルティの配布を通じて、環境の大切さを伝えました。

(脱温暖化センターひろしま)

災害廃棄物置き場に並ぶトラックの列(上)、道端に集められる災害廃棄物(中)、災害廃棄物置き場の様子(下)



前号では、災害に備えた家屋内の整理・整頓・転倒防止対策につ

ブラウン管テレビは災害廃棄物か？ ～不要なものの処分も防災～

災害に備える



今回では、災害に備えた家屋内の整理・整頓・転倒防止対策につ

例えば、ブラウン管テレビ、古いミシンやピアノ、子どもたちが使っていた教科書や専門書など。大切なものもあれば、単に処分を先延ばしにして残されていたものもあります。

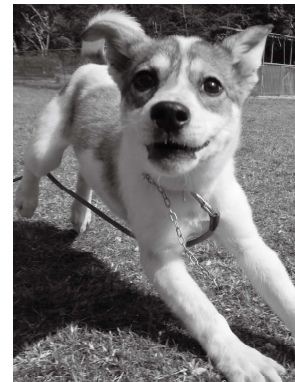
みなさんは、かつて行政が実施する集合注射会場で飼いの狂犬病予防注射を行ってきただけで、どうしたらよいのでしょうか？

みなさんは、かつて行政が実施する集合注射会場で飼いの狂犬病予防注射を行ってきただけで、どうしたらよいのでしょうか？

動物の愛護と管理を考える

狂犬病予防注射を受けましょう

年1回の注射義務があります



注射の廃止や回数削減が進んでいます。集合注射がなくなってしまうと、どうしたらよいのでしょうか？

狂犬病は人を含めたすべての哺乳類に感染し、発症すると効果的な治療法がなく、ほぼ100%死亡する恐ろしい病気です。

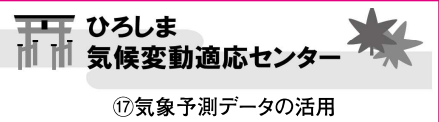
動物も私たち人間と同じように年を取り、がんなどの病気

注射済票

伝病になることもあります。混合ワクチンの対象疾病や、フィリア症などは、ワクチンや予防薬で防ぐことができます。

季節商品の需要を予測

気象予測データを活用し、廃棄ロスを削減



気候変動による気温上昇や短時間強雨など、極端現象の頻度や強度が増すと自然災害が増加し、さまざまな産業・経済活動に影響を及ぼします。

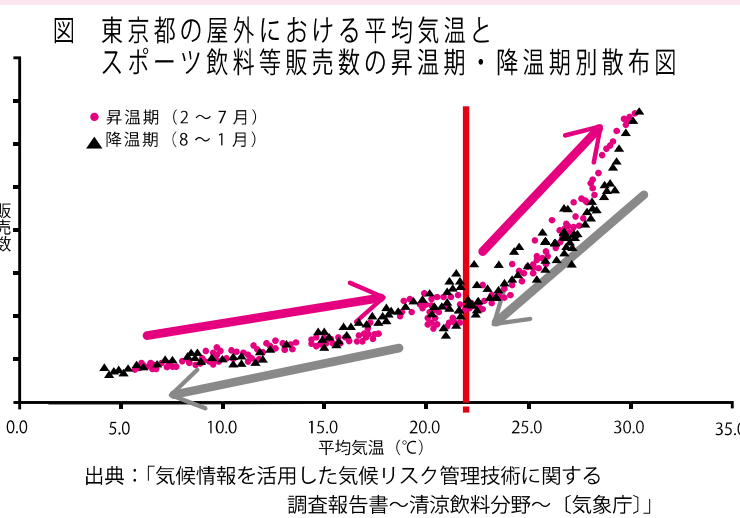
商業では、急激な気温変化や大雨の増加などによって季節商品の需要予測が難しくなることや、大雨や台風による売上増減がでることなどが報告されています。

れるため、シーズン終盤の売れ残りがロスになってしまいます。そこで、気象予測データをもとに商品の需給調整や季節商品の発売および終売予測を行って、適応する取り組みが始まっています。

図は東京都のスポーツ飲料などの販売数と平均気温の関係で、気温が高いほど販売数が増える傾向を示しており、特に22℃を超える頃から販売が急増しています。

気候変動対策に「適応」と「緩和」の両面から寄与する取り組みです。さまざまな予測技術や研究が進むことで、このような取り組みの増加が期待されます。

(ひろしま気候変動適応センター)



出典：「気候情報を活用した気候リスク管理技術に関する調査報告書～清涼飲料分野～(気象庁)」

共助利用井戸マップを全戸配布 登録井戸 100 件を目指して

府中町公衆衛生推進協議会は、平成 30 年7月豪雨を受け、有事の際の生活用水の確保をねらいに府中町危機管理課と協力して災害時共助利用井戸の調査・登録を進めています。今年度、環境と健康のコミュニティ活動助成事業を活用し、これまでの成果をまとめた「府中町災害時共助利用井戸マップ」を作成しました。

マップの作成にあたり、これまで登録した井戸の所有者全員に改めて掲載許可の確認をしたところ、井戸が使用できなくなっていたり、所有



⑤府中町公衛協

者と連絡がつかないなどの理由から、登録している全ての井戸を掲載することはできませんでした。現在は 29 カ所の井戸を掲載しています。

作成したマップは、掲載井戸の所有者や環境・健康募金にご協力いただいた企業に配布するほか、3月1日発行の公衛協だよりと併せて全戸に配布されます。また、掲載井戸の所有者には、有事の際に共助利用井戸の目印となるのぼりも配布されます。その他にも、各地区掲示板や公共施設など、人が集まる場所にもマップを掲示する予定です。マップ配布の際に町民から、未登録の井戸に関する情報提供などもあり、今後も登録井戸の増加が見込まれます。

次年度以降も、全ての町民が「我が家の近くに有事の際に使用できる井戸がある」状況を目指します。登録井戸 100 件を目標に調査を継続、マップの更新を行うほか、海田町公衛協が作成・運用している共助利用井戸登録制度の実施要綱を参考に、同様の手引きを作成する予定です。

今後も取り組みが継続され、有事の際にもなるべく平時と同様に暮らせるよう、自助・共助の環が広がることを期待します。

(地域活動支援センター)



マップ作成会議の様子 (上)、有事の際に目印となるのぼり (下)

皆さん、食品表示をご存じでしょうか。私たちがスーパーやコンビニエンスストアなどで買う商品には、安全性や内容に関する重要な情報が表示されており、これを『食品表示』とい

います。例えば、ス

加物を含むすべての原

起こす食品の中で、

環保協の 環境生活 センター

④食品検査課

パーで売られるお菓子や冷凍食品などの加工食品は、食品表示法によって表示することが義務づけられていま

す。

この表示には、使用されている原材料名、アレルギー、栄養成分、消費・賞味期限、保存方法などが記載され、表示を見るだけでさまざまな情報を瞬時に得ることが出来ます。

原材料名は、食品添加物を含むすべての原

起こす食品の中で、

発症数や重篤度から表示する必要が高い特定原材料8品目(小麦、

そば、卵、乳、落花生(ピーナツ)、えび、かに、くるみ)は必ず記載されています。

また、最近では健康面に関する成分が食品表示に記載される傾向にあります。例えば、摂取すると生活習慣病のリスクが高くなる飽和脂肪酸や、摂取不足が心筋梗塞の発症に関係する食物繊維などがそれにあたります。

このように、食品の表示からは栄養面や健康面など、さまざまな情報を得ることが出来ます。皆さんも食品を購入する際は食品表示を確認してみてください。

食品表示の例(一部抜粋)

名称:チョコレート
原材料名:チョコレート(砂糖、カカオマス、全粉乳、植物油、ココアバター、乳糖)、…、還元水飴/乳化剤、…、(一部に乳・大豆・アーモンドを含む)
内容量:50g
賞味期限:△△年○月××日
保存方法:直射日光・高温多湿を避けて、28℃以下で保存してください。

大畑翔梧

令和7年1月29日に、2024年度広島水道塾を開催しました。本研修会は、平成27年から開始し、コロナ禍の令和3、4年度は開催できませんでしたが、今回で8回目の開催となりました。

広島水道塾は、飲料水のうち、水道水の供給に携わる水道事業者の方を対象とした技術研修会です。当協会は、

これまで、水質検査に関わるさまざまなテーマで研修を行っており、例えば、水道水源となる河川等で油などが河川に流出した際の緊急の水質検査の対応方法、水に異臭を付ける物質、異物検査の紹介、それらの模擬検査

重要な情報を含む食品表示

毎日の健康づくりの一助に

また、最近では健康面に関する成分が食品表示に記載される傾向にあります。例えば、摂取すると生活習慣病のリスクが高くなる飽和脂肪酸や、摂取不足が心筋梗塞の発症に関係する食物繊維などがそれにあたります。

広島水道塾の取り組みと成果

広島県内の水道の安全を守るために

等の実習などを行い、水道事業者の方に水質検査の実際をより深く理解していただいています。

また、逆に水道事業者の方にも講義をお願いし、情報共有・意見交換を行い、当協会の職員が水道の運営の知見を深めることで、水質検査結果をより有効に活用できる方法を学ぶ機会にもなっています。

令和6年度は、「微生物等に注目した水道水質管理」というテーマで、水道水質を管理する際に重要な微生物や植物プランクトンなどについて、浄水処理における影響や対策、検査手法に関する情報提供、顕微鏡を使った検査方法の実習などを行い、ご参加いただいた水道事業者の方に水質検査の知見を深めていただきました。

今後も、広島水道塾を継続し、協会職員を含め、広島県内の水道事業に関わる方々の人材育成に携わるとともに、連携を密にしていこうと、広島県

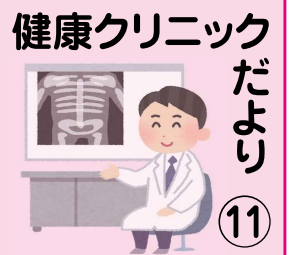


顕微鏡を用いた植物プランクトンの観察 (上)、水の簡易検査 (下左)、水の臭気の検査 (下右)

乙部将司

2023年のがんによる死者数は年間38万人を超え、死亡原因の第1位となっています(2023年人口動態統計調査)。その中でも肺がんは、死亡率が高いがんです。肺がんは、気管支や肺細胞が何らかの原因

肺CT検査を積極的に受けましょう 早期発見で5年生存率は90%以上



肺がん検診といえ、一般的に行うのが、胸部X線検査です。胸部X線検査では、骨や心臓、血管、横隔膜に遮られ、肺が見えづらい部分が多くあります。一方、CT検査では体を輪切りにした画像を得ることができ、

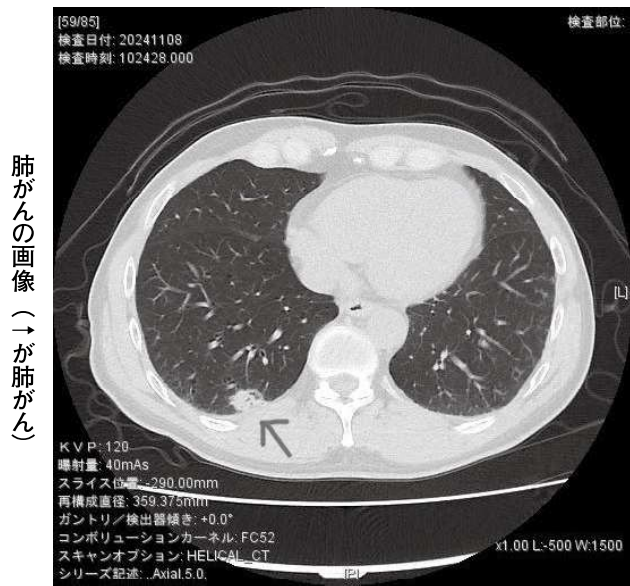
でがん化したものです。進行すると、組織を壊しながら増殖し、血液やリンパ液の流れなどにのって転移することもあります。早期には症状が見られないことも多く、進行して初めて症状が出ることもありますので、早期発見には検診が大切です。



低床で利用者にやさしいマルチスライスCT装置

肺がん検診といえ、一般的に行うのが、胸部X線検査です。胸部X線検査では、骨や心臓、血管、横隔膜に遮られ、肺が見えづらい部分が多くあります。一方、CT検査では体を輪切りにした画像を得ることができ、

胸部X線検査では影になつてしまう部分も確認することができません。らせん状に撮影するマルチスライスCTは、小さながんでも発見できる精度の高い検査です。1回息を止めている間に、肺全体を連続的に撮影することが可能で、1ミリ単位で画像が作成できます。CT検査で2センチ以下の時期に発見すれば、5年生存率が90%以上であるという報告もあります。



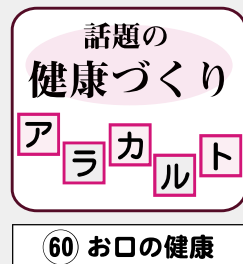
肺がんの画像(→が肺がん)

んや卵巣がんは、肺がんの発生に深くかわると思われています。以上のことから、肺がん検診は男女問わず積極的に受診してほしいと思います。今のところ、肺がん発見に最も

有用な検査はCT検査と考えられています。当協会もマルチスライスCTを導入し、肺CT検査を積極的に行っています。ぜひ受診してみてください。
(診療放射線技師 谷崎典史)

オーラルフレイルを知っていますか 8020運動から次のステップへ

平成元年にスタートした8020運動は、80歳になっても自分の歯を20本以上残すことを目指す運動です。そして現在は、歯だけではなく口腔機能も併せて維持することで、人生100年時代をより健康に生きようという考えから、オーラルフレイルの予防・対策が注目されています。



項目のうち2項目以上に該当する場合は、オーラルフレイルに該当します。

オーラルフレイルに該当した場合は、かかりつけ歯科医に相談しましょう。該当しない場合でも、定期的に歯や口の健康状態を歯科医に診てもらうことが大切です。

当クリニックでは、健診のオプションで歯科スクリーニング検査(唾液による検査)

を実施でき、歯や歯ぐきの健康状態・お口の清潔度が分かります。年に1回の健診で、歯のチェックもぜひご検討ください。予防には適切な口腔ケアが欠かせません。歯ブラシで磨くだけではなく、歯間ブラシやフロスで歯の間も掃除しましょう。また、口腔体操は口や舌の動きをスムーズにし、飲み込む力などをつけることができます。セルフケアを習慣にすることで、オーラルフレイルを予防しましょう。

(健康支援課 中田 真理子)

オーラルフレイルはフレイル(衰え)の一種です。口腔機能に軽微な低下を生じ、滑舌低下、食べこぼし、むせ、食物がかみにくい、口腔内の乾燥などの症状が表れます。これらをきっかけに、食生活への支障や、滑舌の悪化による人との関わりの減少を招くことから、オーラルフレイルが身体的・精神的・社会的フレイルの進行の前兆になることがあります。

まずはチェックリストで自身のお口の健康状態を確認してみましょう。5

オーラルフレイルのチェック項目(OF-5)

質問	該当	非該当
自身の歯は何本ありますか ※さし歯や金属をかぶせた歯は自分の歯として数えます インプラントは自分の歯として数えません	0~19本	20本以上
半年前と比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい	いいえ
お茶や汁物等でむせることがありますか	はい	いいえ
口の渇きが気になりますか	はい	いいえ
普段の会話で言葉をはっきりと発音できないことがありますか	はい	いいえ

日本で最も多く見られる桜は染井吉野(ソメイヨシノ)ですが、江戸時代末期に誕生し、明治以降に広まりました。その名前は発祥地の江戸染井村と、桜の名所・吉野に由来しています。

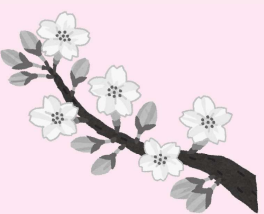
成長が早く、葉が出る前に大きな花が密集して咲く品種で、この特徴を変えないために接ぎ木で植えられています。

江戸時代までは桜といえば山桜で、樹皮は毒消しの民間薬として重宝され、キノコや魚の食中毒、化膿症、下痢に利用されてきました。漢方では桜皮(オウヒ)という日本独自の生薬で、十味敗毒湯(ジュウミハイドクトウ)に配合されています。桜皮エキ스는鎮咳去痰薬として処方されています。

桜の樹皮は優れた薬用成分が豊富です。抗真菌作用をもつサクラネチンは、百年以上前に日本の桜から発見され、近年イネからも見つかっています。いもち病



桜の魅力 花だけでなく樹皮や葉にも



に対する主要な抗菌成分であることが判明し、研究が進められています。大豆や葛などのマメ科に多い、大豆イソフラボンのゲニステインが含まれ、これは骨粗鬆症(こつ

しょうしょう)やニキビの改善で注目されている成分です。また花

や葉にも薬用成分があり、桜餅の葉の香り成分であるクマリンは、さまざまな効能が確認されています。

山桜などの野生種は病気に強く、寿命は2百年、まれに千年の古木もあり、生薬の原料になります。一方、染井吉野はてんぐ巣病(真菌)に弱く、寿命は60年といわれます。これは染井吉野が生薬の原料に使われないことに関係があるのかもしれませんが。

桜は、美しくも命短く儚い印象がありますが、かつては病気の時にも頼りになる生命力にあふれた長寿の木だったようです。(健康科学センター 診療所長 武生 英一郎)

ひろしま環境賞を受賞

日頃の公衆衛生活動が評価

1月23日に広島県庁で第30回ひろしま環境賞の表彰式が開催され、団体として世羅町公衆衛生推進協議会が、個人として大崎上島町公衆衛生推進協議会の梅澤恵子会長が受賞されました。ひろしま環境賞は、地域における環境保全活動や環境に配慮した地域づくりに関して顕著な功績があり、他の模範となる功績をあげた個人又は団体を称えるとともに、県民の環境保全意識の向上や活動の促進を図ることを目的として、平成6年度に創設された表彰制度です。世羅町公衆衛生推進協議会は、小学生や地域住民を対象とした体験型環境学習「水辺教室」や、各地区でウォーキングしながらごみを拾う「ごみ拾いウォーキング」など、地域の小学校や住民を巻き込んだイベント開催や他団体主催イベントとのタイアップなどにより、住民へ環境保全の意識付けを行っています。梅澤会長は、大崎上島町公衆衛生推進協議会会長、大崎上島けんこう文化の島づくり協議会会長として、フェリー利用者を対象としたアイドリングストップ運動や、気になるごみの多い地区を中心にごみを拾う「散乱ごみ追放運動」など、環境保全活動の企画・運営に積極的に貢献し

内窓で遮熱・防音・防犯
持続可能な暮らしにつながる商品紹介

1月22日(水)に、廿日市市地御前市民センターで、廿日市市公衛協主催による地球温暖化防止講座が開催されました。

昨年7月に、同市民センター図書室の窓に、内窓を設置するワークショップを実施しましたが、今回のワークショップに参加していない方にも、内窓の効果を知っていただくために講座を開催しました。

エアコン効率が良くなり、光熱費を削減しながら、快適な図書室となったことを、実際に図書室に設置した内窓を見て、触って、体感してもらうことができました。

講座では、窓の建材製品を開発・提供する、株式会社LIXILの中西謙太氏から、内窓の断熱効果や、防音、防犯効果、国の補助金情報など、お話いただきました。

株式会社LIXILは、トイレやキッチン、バスルームなど、水回り製品を扱う企業として、特に水



内窓について学ぶ参加者(上)、レピアペイブの活用例(下)

の持続可能性を追求されています。例えば、一般家庭内でトイレは使用水量が多く、全体の21%も使用しています。この貴重な水を大切に使うことを考え、強い洗浄力はそのままに従来品より大幅に洗浄水量を減らし、地球環境に配慮する「節水型トイレ」などがあります。

この他、「ひろしまスタジアムパーク」内にあるピオトップエリアに、廃プラスチックと廃木材を融合した循環型素材

「レピア」を使用した舗装材「レピアペイブ」を納入されています。建築物の解体などで不要となった廃木材といった廃棄物を資源として有効活用するとともに、廃棄物処理にかかるCO₂排出量の削減に寄与します。「ひろしまスタジアムパーク」に来られた際には、ぜひご覧ください(写真参照)。

私たちの身の回りにある「循環型素材」に関心を持ってみましょう。(脱温暖化センターひろしま)

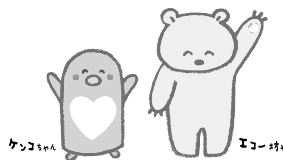
公衛協ブロック会議 開催案内

ブロック	日時	会場
西部・中央	令和7年3月12日(水) 10:00～15:00	広島県公衆衛生会館 6階 講堂
福山・尾三	令和7年3月13日(木) 10:00～15:00	環境協東部支所 3階 大会議室
北部	令和7年3月14日(金) 10:00～15:00	みよしまちづくりセンター ペペラホール

自らも地球温暖化防止活動推進員として地域住民に環境保全の必要性を伝えられています。このような継続的・模範的な活動が評価され、今回の受賞となりました。今後も、環境保全・健康増進に寄与する益々の活躍を期待します。(地域活動支援センター)



右から、世羅町公衛協川上事務局長、大崎上島町公衛協梅澤会長、世羅町公衛協曽我会長、世羅町公衛協村瀬副会長

令和6年度
地区衛生組織活動資金募集

通称

『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、令和6年度で65回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として、地域社会に役立てられています。

環境・健康募金
総額(円)43,058,552円
(令和7年1月末実績)

環境協に配分された募金は、以下のような事業に活用しています。

【学習教材貸出事業】

環境づくりや健康づくりに関する各種グッズの貸出をしています。貸出グッズの一覧は、当協会ホームページからご覧いただけます。
(<http://www.kanhokyo.or.jp>)

食品ロス NO カルタ

食品ロスの現状や食品ロスを減らすためのヒントについて、楽しく遊びながら学ぶことができる教材です。



市町別一覧表

※この表は、令和7年1月末日現在、各市町公衛協から募金委員会に報告のあった募金額を記載しています。

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	1,230,900	85.4
海田町	1,981,635	93.4
熊野町	1,324,760	96.6
坂町	311,914	86.5
江田島市	1,606,600	97.5
竹原市	1,494,300	97.6
大崎上島町	282,500	95.6
大竹市	2,263,960	97.7
廿日市市	3,106,290	94.7
廿日市市大野	2,516,806	99.1
廿日市市佐伯	322,850	109.1
廿日市市吉和	41,300	79.0
廿日市市宮島	185,803	100.8
安芸太田町	634,200	96.0

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	1,002,050	99.9
安芸高田市	1,694,262	86.7
東広島市	4,065,056	96.0
三原市	1,354,674	97.1
世羅町	733,280	98.0
尾道市	4,064,720	95.9
福山市	8,107,640	96.8
府中市	1,001,900	98.4
神石高原町		
三次市	1,550,445	70.8
庄原市	2,120,220	94.2
その他	60,487	103.4
合計	43,058,552	93.8